

3 認知症相談事業（市提案）（一般社団法人かまくら認知症ネットワーク、市民健康課）

Q 団体の専門性が活かされた事業だと思うが、今後の方向性について聞きたい。

A（担当課）相談事業は、保健福祉事務所や地域包括支援センターも行っているが、相談しやすい体制づくりをそれぞれの機関も交えて考えていきたい。

Q 他の機関の相談件数は。

A（団体）保健福祉事務所は県の施設なので市で件数把握はしていない。他に「りんどうの会」が相談を受けており、電話相談は件数はさほど変わらないが、毎月サポート会という家族の会があり、20名くらいの家族が集まっている。そのうち新規の参加者は1～2名である。

ニーズに対して相談体制が応えきれていないと思っている。

Q 市と協働した意義はあったか。

A（団体）あった。